

1. 人権教育を保護者にどう伝えるか？

- ・保護者は、人権懇談会を敬遠する。なぜか？
- ・教師からの説教じみた話は聞きたくない。
- ・教師が自分の言葉で話さないと通じない。本の丸写しは通じない。
- ・難しいことを簡単に言えるか、ここがポイント。「優しい人」
- ・人権教育と我が子がつながっている、人権教育と子育てはイコールの関係、「学級づくり」「子育て」と「差別の冰山」の関係。この解説ができれば成功。

2. 人権懇談会の持ち方、進め方

- ・懇談会の前が大切 懇談会の宣伝、広報（学年通信、学級通信、連絡帳、電話）
- ・気楽にしゃべる雰囲気作り 絵本や歌を入れてみる
- ・名札のセット、机の並べ方、資料配布等をきっちりと
- ・自己紹介→授業について→人権教育について→子どもとの関連→まとめ
- ・事後のまとめ方 学級通信等で欠席の保護者にも伝える

3. 人権教育と同和教育について、知っておきたいこと

- ・同和教育の歴史。詳しく知らなくてもその流れは理解しておく 「同和関連法」の変遷
- ・同和教育と人権教育の違い。 「部落差別の解消を基盤」から「人権尊重を基盤に」
- ・「差別の冰山」の考え方
- ・部落史の見直しとは、どういうことか。
- ・人権教育の4つの内容
- ・同和問題は依然として深刻な課題。解決はしていない。だから人権教育として進める
- ・今こそ「水平社宣言」をもう一度振り返る
- ・アサーティブネス（非攻撃的自己主張）の進め方を
- ・参加型学習だけでは変わらない。不易流行、温故知新
- ・人権教育の視点に立った授業づくり、学級づくりを。 人権教育の視点とは？

4. 同和問題の解決に向けて

- ・差別を残しているのは「大人」そして教師かも？
- ・あるお母さんからの手紙 「人間を変えるのは教育しかありません」
- ・子どもたちの叫びを大人は聞いてほしい！ 「〇〇中学校卒業式 答辞」

5. ♪世界中の優しさでこの地球をつつみたい♪ I believe in future